

広島労働局・建災防広島県支部による 合同安全パトロールを実施しました。



広島労働局長の挨拶



現場パトロールの様子

広島労働局では、令和3年7月5日に建設業労働災害防止協会広島県支部と合同で、広島駅南口ビル新築他工事現場のパトロールを実施しました。

本件パトロールは、7月1日から7日まで実施している全国安全週間の取組の一環として、建設現場における安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を図るために行ったものです。

パトロール冒頭、阿部労働局長から、建設業における災害発生状況の説明があり、熱中症予防対策、新型コロナウイルス感染症防止対策の取組を呼びかけました。

広島労働局管内の建設業における労働災害については、令和2年の「休業4日以上
の死傷者数（以下「死傷者数」という。）」は、363人と令和元年と比較して7.7%の増加となりました。令和3年5月末時点では128人となっており、前年同期から13人（11.3%）の増加で、ここ5年の中で最も多くなっています。

現場では、スマホアプリによる情報共有、密を避けた休憩室の利用、ミスト発生装置による熱中症予防対策等の取組について説明を受けました。

パトロール終了後、現場事務所の会議室において講評が行われ、今後も安全対策を着実に図るようお願いしました。